

ポテリジオ®を投与されている方へ

外来治療時または退院時にお読みください

～皮膚障害について～



監修

公益財団法人慈愛会 今村総合病院

名誉院長 兼 臨床研究センター長 宇都宮 與 先生 / 皮膚科 主任部長 米倉 健太郎 先生

自宅にいるときも、 皮膚障害に注意しましょう！

ポテリジオ®の治療中および治療後から数週間以降にかけて、多くの患者さんに皮膚障害(発疹、皮膚炎、かゆみなど)があらわれることが知られています。

皮膚障害は、ポテリジオ®を複数回投与するとあらわれることが多く、投与が終了してしばらく経ってからあらわれることもあります。



皮膚障害は、手足などの見える部分だけでなく、背中や胸など、普段、服に隠れて見えない部分にあらわれることもあります。

入院中だけではなく、外来治療や退院して自宅にいるときにも、全身の皮膚を観察し、皮膚障害には注意するようにしましょう。

ご本人は気付いていないこともありますので、ご家族の方も注意して、全身の皮膚の状態を観察するようにしてください。

少しでも、おかしいな?と思う症状があらわれたら、すぐに主治医の診察をうけるようにしましょう。

こんな症状がみられたら、 すぐに主治医の診察を受けましょう

次のような皮膚の症状があらわれたら、たとえ症状が軽くてもすぐに、主治医の診察を受けましょう。(短期間で症状が急速に進行し、重症になることがあります。)

皮膚の症状があらわれた場合は、ステロイド剤などのお薬で治療を行い、症状の程度が軽ければポテリジオ®の治療を継続することが可能な場合もあります。症状が重い場合は、ポテリジオ®の投与を延期したり、休薬することがあります。



診察時に主治医にみせるため、メモを残しましょう

- いつから (例：○月○日○曜日の朝から)
- どんな症状が (例：背中が赤くなった)

あなたの主治医は

医療機関名(連絡先)